

現中央図書館の現状と課題

現状と課題		備考
①建物の老朽化 昭和54年築 (築40年) 耐震化済	水漏れ	
	壁面・床の亀裂	
②手狭な施設 床面積 1,487㎡ (内訳)別紙 蔵書数 174,432冊 (H31.3.31現在)	所蔵スペースの不足	開架、書庫ともに飽和状態 旧川上小学校に一部を臨時保管
	閲覧スペースの不足	机・椅子が少ない
	学習スペースの不足	郷土資料室、参考資料室、学習室が兼用になっている
	郷土資料専用スペースがない	
	お話し会用のスペースがない	絵本コーナー兼用
	飲食できるスペースがない	ロビー機能、交流スペースがない
	作業スペースの不足	元車庫を改装し、図書の受入れ、学校等への配送作業などを行っている。
事務スペースの不足		
③駐車場の不足 約76台分 (公民館と共用)		土日や平日でも公民館と行事が重なると駐車できない まちなかの催し物時などは、開館前に満車になってしまうことがある
④設備の不備	書架が高い	ステップ使用が必要(子どもや高齢者には危険を伴う)
	天井が低い	声が響きやすい
	バリアフリーでない	スロープの設置で対応
⑤利用者の偏在	中高生の利用が少ない	学習室は利用するが、図書利用は少ない 【利用者年齢層】(H28推定) 6歳以下 5.5% 小学生 10.2% 中学生 2.0% 高校生 0.7% 19～40歳 25.5% 41～60歳 32.9% 61歳～ 23.2%

現中央図書館の使用用途別床面積及び割合

機能	使用用途	床面積 (㎡)	設置割合 (%)	備考
中央図書館	一般書架	400	26.9	
	閉架書庫	171.75	11.6	
	新聞雑誌コーナー	38.4	2.6	
	児童図書コーナー	141	9.5	
	絵本コーナー	36	2.4	
	学習室	129	8.7	
	配本作業室	60	4.0	
	点訳・音訳図書室	12.5	0.8	
	パソコン室	17.5	1.2	
	事務室	51	3.4	
	サービスカウンター	30.3	2.0	
	会議室	38	2.6	
	ロビー	45	3.0	
	風除室	30	2.0	
	トイレ	40.75	2.7	
	倉庫	36	2.4	
	機械室	96.04	6.5	
	階段	9	0.6	
	その他	104.76	7.0	廊下等
		1,487	100.0	

(参考) 拠点施設に入れたい機能

区 分		意 見
開架スペース	一般書	ゆったりとした空間で明るい感じがよい
		棚を多く欲しい
児童図書コーナー		児童お話の部屋
		お話し会専用スペース
		絵本コーナーをもう少し広く
		授乳室
郷土資料コーナー		郷土の偉人コーナー
		郷土資料室
AV資料閲覧コーナー		AV資料閲覧室
学習室		中高生のスペース
		ネット予約できる学習室
		学習室だけの部屋
展示コーナー		常設展示、企画展示、テーマ展示、それぞれの場所
		展示のしやすい壁面
貸し会議室 ・活動室		イベントに使える貸小ホール
		映像、音響設備がある小ホール
		貸し会議室
		グループ学習室
		グループ活動のスペース
		ボランティアやサークル活動のできる部屋
その他コーナー		リニア関連コーナー
		地元の食品やお土産を販売するコーナー
		地元の産業や製品が紹介できるディスプレイケース
		中山道案内所
		広いポスター、チラシ等配布閲覧スペース
オープンスペース		声を出したり（電話など）、簡単な飲食可能なスペース
		飲食できる椅子とテーブル
		軽食のとれるカフェ
		飲食スペース&喫茶店→一日中滞在できる
		コンビニ
		恵那山が見える窓やテラス
		ベランダとか中庭があって、読めたりできるといい

区 分	意 見
機器	配本専用棚
	印刷機
	本の臭いとり器
	自動貸出システム
	本が傷まないブックポスト
その他	駐車場スペースを広く確保したい
	障がい者にやさしい（お年寄り、子ども）
	トイレは閲覧スペースと離す
	スタッフが働きやすい環境
	居心地の良い職員用休憩室